

あ い ま い な
森 ぐ ら し

「森」とはあまいなものである。森の樹木間には境界はなく、噛み合うように重なり無秩序に広がる。広がることでできた森も町との明確な境界はなく、生き物の行動範囲もあまいだ。そこで森に溶け込み、自然と、動物と、共生していける住宅を考えた。自然の循環の中で人間の生活も循環していく、これからの森ぐらしを提案する。

